

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成26年 1月14日 更新

事務事業名		交通指導員設置事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	総務部	課長名	青木洋治
	施策	3	交通安全対策の推進			所属課	総務課	担当者名	小山可愛
	基本事業	10	交通事故防止対策の推進			所属班	交通防災班	(内線)	1215
予算科目		会計一般	款2	項1	目3	事業連番10041	法令根拠	道路交通法、交通指導員設置規則 成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ⑫	
終了、開始年度		☐ 24年度で終了 ☐ 24年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 54 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	市民の安全を確保し、交通事故の防止及び交通道德の高揚を図るため、市からの委嘱により交通指導員を設置。毎月1日、10日、20日の安全安心の日の街頭指導及び市主催行事等へ派遣する事業。現在の指導員数は19名。交通指導員会議の開催。交通指導員法令等講習会への参加。人口や車両の増加に伴い事故件数も増加しているため、指導員の必要性も大きくなっている現状がある。指導員の高齢化が進む等、退任者が出てきており、その後の補充、後継者の確保が必要である。
【業務の流れ】	指導員の選出、委嘱状の交付、法定講習会へ派遣、街頭指導等出勤依頼、費用弁償・報酬の支払
【主な予算費目】	報酬、旅費(費用弁償)、需用費(消耗品費)、負担金補助及び交付金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	特になし

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)		25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・安全安心の日、春・秋及び年末年始の全国交通安全運動期間中の通学路を中心とした街頭指導。 ・市主催行事等での交通指導。交通指導員会議の開催・交通指導員法令等講習会への参加		24年度に同じ
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 指導員の出場行事数	件	報酬、旅費(2名分)の減
イ:		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民		→ ア: 市民
		イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
交通事故に遭わないようにする		→ ア: 市民が交通事故第一当事者となった人数
		イ:
* ③ 成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
交通指導員の街頭指導、啓発活動により、交通事故の未然防止につなげる。24年度の目標値は、交通事故当事者減少を目標に設定した。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	26年度 予定	27年度 見込	28年度 見込
① 活動指標	ア 件		43	47	41	47	41	41	41	41
	イ									
② 対象指標	ア 人		55,732	56,638	56,829	57,367	57,377	57,925	58,474	59,024
	イ									
③ 成果指標	ア 人		334	320	315	273	310	305	300	295
	イ									
投 入 費 用 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	1,320	1,512	1,841	1,532	1,756	1,850	1,850
	人 件 費	(A) 事業費計	千円	1,320	1,512	1,841	1,532	1,756	1,850	1,850
		(A)のうち指定経費	千円	735	735	852	720	774	850	850
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	2	2	3	2	2	2
人 件 費	延べ業務時間		時間	142	52	52	150	52	52	52
	(B) 人件費計		千円	585	209	209	610	209	209	209
	トータルコスト(A)+(B)		千円	1,905	1,721	2,050	2,142	1,965	2,059	2,059

事務事業名	交通指導員設置事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	-----------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（SEE）

※原則は24年度の事後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した 交通安全街頭指導等により、目標を達成した。 ☐ 達成しなかった ⇒ 【原因】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ・交通指導員による街頭指導の継続により、運転者のマナーの向上及び通行者の安全確保に取り組むことで、交通事故発生件数減少の見込みがある。 ☐ 目標達成は厳しい ⇒ 【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	☒ 向上余地がある ⇒ 【理由】 指導員の研修等を行い、指導員の資質の向上を図ることで、街頭指導を通して交通事故発生を抑制できる。 ☐ 向上余地がない ⇒ 【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒ 【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒ 【理由】 指導員の専門的な交通関係の知識を必要とするため、統廃合できない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒ 【理由】 交通指導員の報酬は近隣町村とほぼ同額で削減余地はない。指導員の出勤手当も15回分打ち切りとしており、削減できない。 ☒ 削減余地がない ⇒ 【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒ 【理由】 交通指導員運営のための業務であり、削減の余地はない。 ☒ 削減余地がない ⇒ 【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒ 【理由】 全市民を対象とした交通指導、市内全域での街頭指導を行っており公平である。 ☒ 公平・公正である ⇒ 【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒ 【理由】 交通安全は、市が主体的に取り組む必要がある。 ☒ 役割分担は適正である ⇒ 【理由】

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

交通事故件数は減少傾向にある。今後もますますの交通事故減少へ向け、指導員の知識・技術の向上と指導啓発の活性化を図る。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善（有効性改善） ☐ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 交通指導員の補充について積極的に呼びかけ等行なうほか、講習会を実施するなど、指導能力の向上を図り、市内の交通安全を推進する。	(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 なし																						